

(2) 推薦入試

推薦入試（教育学部）

(1/7)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・国語専攻
募集人員	6名	
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がAの者 2. 学習成績概評がB以上で、国語の評定平均値が4.3以上の者 	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／約25分／面接員複数／口頭試問含む）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

（2／7）

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・社会専攻
募集人員	5名	
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がAの者 2. 学習成績概評がB以上で、地理歴史及び公民の全履修科目の評定平均値が4.3以上の者 	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／約30分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

（3／7）

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・数学専攻
募集人員	5名	
出願要件	<p>次の各項に該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数Ⅱ、数Ⅲ、数Bを履修（見込みを含みます）している者 2. 学習成績概評がB以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者 	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／20～25分／面接員複数／口頭試問を含む）・小論文（主に数学的思考力を問う）及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

（4／7）

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・理科専攻
募集人員	4名	
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がAの者 2. 学習成績概評がBかつ理科の評定平均値が4.1以上の者で、物理、化学、生物、地学のうち1科目以上を履修した者又は履修見込みの者 	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／30～40分／面接員複数／口頭試問を含む）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

（5／7）

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・美術専攻
募集人員	2名	
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がB以上で、美術又は工芸の評定平均値が4.0以上の者 2. 学習成績概評がB以上で、美術及び工芸並びにこれらに類する科目（素描、絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザインなど）について計10単位以上修得又は修得見込みで、その評定平均値が3.5以上の者 	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／25分～30分／面接員複数）・実技試験及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの）、作品制作証明書（※）、美術活動調査書、入選・入賞を確認できる書類（コピーでも可））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p> <p>※ 志願者本人が出身学校在籍中に制作した作品の写真（1作品につき写真1枚）を貼り付けて提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5点以内とする。 ・作品の分野は問わない。 	
実技試験内容	<p>用意された材料・用具を用いた立体造形物の制作、並びにそれをモチーフとする鉛筆素描。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素描のための鉛筆、消具等は、受験者が用意してください。 ・試験時間は、3時間です。 	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

（6／7）

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・保健体育専攻
募集人員	5名	
出願要件	<p>出身学校1校につき1名とし、次の各項に該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がB以上の者 2. スポーツ活動の成績がブロック大会（例：関東大会など）出場以上の者 	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接及び個人面接、集団面接：約30分／面接員複数／口頭試問を含む、個人面接：約15分／面接員複数／主に競技歴の確認）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの）、スポーツ活動調査書、競技成績を確認できる資料等（コピーでも可））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（教育学部）

（7 / 7）

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・障害児教育専攻
募集人員	4名	
出願要件	学習成績概評がB以上の者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／約30分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)	
選抜期日	平成30年11月17日(土)	
合格者発表	平成30年12月7日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。	

推薦入試（社会情報学部）

実施学部・学科名	社会情報学部	社会情報学科												
募 集 人 員	28名（GFL特別枠及びデータ解析特別枠若干名を含む）													
出 願 要 件	<p>【一般枠】 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>【GFL特別枠】 次のいずれかに該当する者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者 2. 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、英語の評定平均値が4.3以上の者 3. 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、次のi～ivのいずれかを取得している者 <ol style="list-style-type: none"> i. 実用英語技能検定（英検）：2級以上 ii. TOEIC Listening&Reading Test：550以上（団体向けのTOEIC-IPを含む） iii. TOEFL-iBT：42点以上 iv. GTEC（3技能）又はGTEC for STUDENTS（オフィシャルスコアに限る）：675点以上（L&R&W） <p>なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願する場合、一般枠の出願要件も満たしている必要があります。</p> <p>【データ解析特別枠】 次のいずれかに該当する者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書の学習成績全体の認定平均値が4.0以上の者 2. 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者 3. 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、次のi～iiiのいずれかを取得している者 <ol style="list-style-type: none"> i. 実用数学技能検定：準1級以上 ii. 統計検定：3級以上 iii. 情報処理技術者試験（ITパスポートも含め、どの試験区分でも可） <p>なお、データ解析特別枠・一般枠併願で出願する場合、一般枠の出願要件も満たしている必要があります。</p>													
選 抜 方 法	<p>出身学校長から推薦された者について、出願枠ごとに選考を行い合格者を決定します。 なお、下記の出願区分3「GFL特別枠・一般枠併願」又は5「データ解析特別枠・一般枠併願」で出願し、各特別枠で合格とならなかった場合、一般枠にて選考を行います。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">出 願 区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 30px;">1</td> <td>一般枠</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>GFL 特別枠</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>GFL 特別枠・一般枠併願</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>データ解析特別枠</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>データ解析特別枠・一般枠併願</td> </tr> </tbody> </table> <p>【一般枠】 選考は、面接（個人面接／15分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）総合して判定します。</p>		出 願 区 分		1	一般枠	2	GFL 特別枠	3	GFL 特別枠・一般枠併願	4	データ解析特別枠	5	データ解析特別枠・一般枠併願
出 願 区 分														
1	一般枠													
2	GFL 特別枠													
3	GFL 特別枠・一般枠併願													
4	データ解析特別枠													
5	データ解析特別枠・一般枠併願													

選 抜 方 法	<p>【GFL特別枠】 選考は、面接（個人面接／20分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、資格検定の証明書（出願要件3. i～ivのいずれかで出願する者のみ））を総合して判定します。</p> <p>【データ解析特別枠】 選考は、面接（個人面接／20分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、資格検定の証明書（出願要件3. i～iiiのいずれかで出願する者のみ））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学試験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など</p>
出 願 期 間	平成30年11月1日（木）から11月6日（火）
選 抜 期 日	平成30年11月17日（土）
合 格 者 発 表	平成30年12月7日（金）
そ の 他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。

推薦入試（医学部医学科）

実施学部・学科名	医 学 部	医学科						
募 集 人 員	35名							
出 願 要 件	<p>出身学校1校につき、一般枠と地域医療枠を合わせて5名以内とし、次の各項に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 出身学校における調査書類、学習成績、適性評価等に優れ、かつ、調査書の学習成績概評がA段階に属し、人物も優れていて、学校長が責任をもって推薦できる者 ※ ④に該当する者については、調査書に④と表示してください。 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者 ※ 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、数学についてはマセマテックスSL又はマセマテックスHLのいずれか、理科についてはフィジクスHL、ケミストリーHL、バイオロジーHLのうち2科目以上を履修又は履修見込みの者 合格した場合は、入学することを確約できる者 							
選 抜 方 法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接（集団面接／40分／面接員複数）・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、適性資質調査書、志願理由書（地域医療枠で出願する者のみ））を総合して判定します。 下表出願区分のいずれかで出願しても合格者の判定は同一の基準により実施します。 なお、地域医療枠で出願した場合、合格者判定の結果、成績が募集人員内（35名）にあると判定され、成績順に決められる地域医療枠合格者（10名程度）よりも下位である場合は、一般枠として合格となります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">出 願 区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">「一般枠」</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">「地域医療枠」</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>		出 願 区 分		1	「一般枠」	2	「地域医療枠」
出 願 区 分								
1	「一般枠」							
2	「地域医療枠」							
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)							
選 抜 期 日	平成30年11月24日(土)、25日(日)							
合 格 者 発 表	平成30年12月7日(金)							
そ の 他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。							

推薦入試（医学部保健学科）

実施学部・学科名	医 学 部	保健学科										
募 集 人 員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">（専 攻）</td> <td style="text-align: center;">（募集人員）</td> </tr> <tr> <td>看護学専攻</td> <td style="text-align: right;">30名</td> </tr> <tr> <td>検査技術科学専攻</td> <td style="text-align: right;">9名</td> </tr> <tr> <td>理学療法学専攻</td> <td style="text-align: right;">8名</td> </tr> <tr> <td>作業療法学専攻</td> <td style="text-align: right;">8名</td> </tr> </table>		（専 攻）	（募集人員）	看護学専攻	30名	検査技術科学専攻	9名	理学療法学専攻	8名	作業療法学専攻	8名
（専 攻）	（募集人員）											
看護学専攻	30名											
検査技術科学専攻	9名											
理学療法学専攻	8名											
作業療法学専攻	8名											
出 願 要 件	<p>次の各項に該当する者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出身学校における学習成績及び人物に優れ、調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 2. 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者 <p>※国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、数学についてはマセマティックスSL又はマセマティックスHLのいずれか、理科についてはフィジクスHL、ケミストリーHL、バイオロジーHLのうち2科目以上を履修又は履修見込みの者</p>											
選 抜 方 法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接（集団面接／20分／面接員複数）、小論文Ⅰ（英語による出題）・小論文Ⅱ（文系の出題）・小論文Ⅲ（理系の出題）及び出願書類（調査書、推薦書）を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学経験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など。</p>											
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)											
選 抜 期 日	平成30年11月23日(金)、24日(土)											
合 格 者 発 表	平成30年12月7日(金)											
そ の 他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。											

推薦入試（理工学部）

(1/2)

実施学部・ 課程・専攻名	理工学部 化学・生物化学科								
募集人員	60名（GFL特別枠若干名を含む）								
出願要件	出身学校における成績及び人物に優れ、学校長が責任をもって推薦できる者で合格した場合は、入学することを確約できる者								
選抜方法	<p>合格者の判定は一般枠とGFL特別枠でそれぞれの基準により実施します。 なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願した場合、一般枠の合格基準を満たして、GFL特別枠の合格基準を満たさない場合は、一般枠として合格となります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">出 願 区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>一般枠</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>GFL 特別枠</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>GFL 特別枠・一般枠併願</td> </tr> </tbody> </table> <p>【一般枠】 以下の3項目を総合して判定します。 1. 出願書類（調査書、推薦書） 2. 面接（個人面接／約10分／面接員複数／口頭試問を含む） 3. 小論文（理工学教育を受けるための基礎能力を問います）</p> <p>【GFL特別枠】 以下の5項目を総合して判定します。 1. 出願書類（調査書、推薦書） 2. 面接（個人面接／一般試問：約10分、GFL試問：約10分／面接員複数／一般試問：口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等） 3. 小論文（理工学教育を受けるための基礎能力を問います。） 4. 志願理由書 5. 英語外部検定試験の成績（GTEC CBT、GTEC（4技能版）（オフィシャルスコアに限る）、GTEC（3技能版）又はGTEC for STUDENTS（オフィシャルスコアに限る）、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOELC Listening&Reading Test、英検、IELTS、TEAP）のうち1つ以上</p> <p>◎小論文の出題範囲について 数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B 理科：化学基礎、化学</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、活動歴を証明する書類を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学試験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など</p>	出 願 区 分		1	一般枠	2	GFL 特別枠	3	GFL 特別枠・一般枠併願
出 願 区 分									
1	一般枠								
2	GFL 特別枠								
3	GFL 特別枠・一般枠併願								
出願期間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)								
選抜期日	平成30年11月21日(水)								
合格者発表	平成30年12月7日(金)								
その他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。								

推薦入試（理工学部）

(2/2)

実施学部・ 課程・専攻名	理工学部	機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科								
募集人員	(学 科) (募集人員) ※各学科ともGFL特別枠若干名を含む 機械知能システム理工学科 33名 環境創生理工学科 28名 電子情報理工学科 35名									
出願要件	出身学校における成績及び人物に優れ、学校長が責任をもって推薦できる者で合格した場合は、入学することを確約できる者									
選 抜 方 法	<p>合格者の判定は一般枠とGFL特別枠でそれぞれの基準により実施します。 なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願した場合、一般枠の合格基準を満たして、GFL特別枠の合格基準を満たさない場合は、一般枠として合格となります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">出 願 区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">一般枠</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">GFL 特別枠</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">GFL 特別枠・一般枠併願</td> </tr> </tbody> </table> <p>【一般枠】 以下の2項目を総合して判定します。 1. 出願書類（調査書、推薦書） 2. 面接 機械知能システム理工学科（個人面接／15～20分／面接員複数／口頭試問を含む） 環境創生理工学科（個人面接／約20分／面接員複数／口頭試問を含む） 電子情報理工学科（個人面接／約10分／面接員複数／口頭試問を含む）</p> <p>【GFL特別枠】 以下の4項目を総合して判定します。 1. 出願書類（調査書、推薦書） 2. 面接 機械知能システム理工学科（個人面接／一般試問：15分～20分、GFL試問：約5～10分／面接員複数／一般試問：口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等） 環境創生理工学科（個人面接／一般試問：約20分、GFL試問：約10分／面接員複数／一般試問：口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等） 電子情報理工学科（個人面接／一般試問：約10分、GFL試問：約3～5分／面接員複数／一般試問：口頭試問を含む、GFL試問：GFL特別枠志願理由及び入学後にやりたいGFL活動等） 3. 志願理由書 4. 英語外部検定試験の成績（GTEC CBT、GTEC（4技能版）（オフィシャルスコアに限る）、GTEC（3技能版）又はGTEC for STUDENTS（オフィシャルスコアに限る）、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOELC Listening&Reading Test、英検、IELTS、TEAP）のうち1つ以上</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、活動歴を証明する書類を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚以内）とします。 （活動歴の例） 英語の資格・検定試験の成績又はスコア、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表、職業分野の資格・検定試験、ジュニアマイスターの受賞、コンクール・コンテスト等各種大会への参加や受賞、留学試験、社会貢献活動への参加や受賞、論文・発表資料など</p>		出 願 区 分		1	一般枠	2	GFL 特別枠	3	GFL 特別枠・一般枠併願
出 願 区 分										
1	一般枠									
2	GFL 特別枠									
3	GFL 特別枠・一般枠併願									
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)から11月6日(火)									
選 抜 期 日	平成30年11月21日(水)									
合 格 者 発 表	平成30年12月7日(金)									
そ の 他	推薦入試学生募集要項の発表時期については、73ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。									